

10月 ぼら組だより

令和5年10月16日(月) 真野第1保育園
ぼら組担任 高橋(記)、田屋

先日はまのっこうんどうかいへの参加、たくさんの応援ありがとうございました。去年からまた成長した姿を見てもらうことができ、担任も嬉しく思っています。

真野第1保育園の一番お兄さん、お姉さんとしてカッコいいところを見てもらいたいという気持ちで練習から一生懸命に取り組むことができました。運動会に向けての活動の中で年下児を思いやり、保育者のお手伝いを喜んでやってくれたりとさすが年長さん!!と、とても頼もしかったです。

難しいと感じることにも挑戦し、できるようになりたいと努力したり、繰り返し練習することでできるようになることに喜びを感じたり、友だちと一緒に活動することの楽しさを味わったりと様々なことを経験してきた子どもたち。

去年はリレーで負けると悔しくて悔しくて泣いてしまっていた子どもたちが、今年は負けても悔しい表情を浮かべながら涙をぐっと我慢。友だちと励まし合ったり、次の勝負の時にもっと速く走ろうとしたり、バトンを落とさないようにしようと話し合ったりと、自分の気持ちに折り合いを付けながら次の為に頑張ろうとする姿が見られました。子どもたちは私たちが思っている以上に目には見えないところ、考えたり、伝え合ったりする力、心情・意欲・態度なども成長しているのだと嬉しく思いました。

つぎは生活発表会が待っています!子どもたちと一緒にまた楽しい思い出をたくさん増やしていきたいと思います!



～運動会裏話～

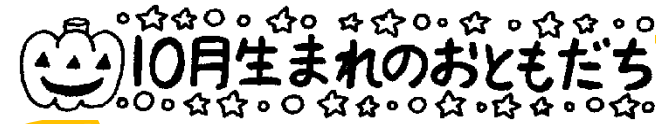
年長リレーの前にチームごとに行う作戦会議は練習でバトンをたくさん落としてしまった時に思い付き取り入れました。次からも子どもたちが「やりたい!」という意見があったのでそのまま続け本番もいつものように作戦会議を行いました。

本番は両チームとも短く「速く走る!」という作戦でしたが、日々の練習の中ではいろいろな意見が出ていました。

白チームの作戦会議はいつも短く、内容は「ちょー速い車よりもすげー速く走る!!」や「めっちゃ速く走る!!」などの熱血派の意見が多く、意見が出るとすぐにみんな「えいえいお～～!!」と掛け声をかけていました。ある時には「運動会の日までスポーツリンクを毎日のむ!」など子どもならではの発想の意見が出ることもありました。



赤チームの作戦会議は少し長めで、「バトンはこうやって(両手で)もらうんだよ」「手をしっかり見て渡す」「最初はゆっくり走って力を残しておいて、抜かれそうになったら速く走るようにしよう!」などなど子どもたちなりに作戦を練る頭脳派でした。そんな頭脳派の赤チームでしたが、本番当日はただただ「速く走る!!」とその一言のみ!相当な気合が入っていたのだなと感じました。



☆インタビュー: おおきくなったら何になりたいですか?

30日 ささき みゆちゃん

☆A. プリキュア

6歳のおたんじょうびおめでとう!!

リレーってたのしい!!

運動会が終わった後も子どもたちのリレーブームは冷めることなく、毎日「今日、リレーやるひと～」と仲間を集め一緒に遊ぶ約束をしています。ホールに出ると自分たちで三角コーンやバトンを準備をし、チーム分けをして勝敗もつけずに何度も何度も往復して走って楽しんでいます。



グーパーじゃんけんじゃんけんポン!



ぼくが3番走るから、2番にする?



誘い合ってリレー遊びする時も子どもたち同士で集まってグーパーじゃんけんてチームを分け、チームごとに話し合って走順を決めています。

友だちと楽しむ中で、勝ちたい気持ちからこっそり裏工作をして好きな友だちとチームを組んでみたり、バトンをもらう時に少し線より前に出てしまったりすることも…「あっちのチームの方が早い友だちが多くてずるい!」等様々な思いを持ちながらもその都度意見を伝え合い、話し合って遊んでいます。

今後も子どもたち同士で話し合いながら子ども主体となって遊びを進め、仲を深めていってほしいなと思っています。引き続き、子どもたちの関わりを温かく見守りながら必要に応じて仲立ちとなっていきたいと思っています。